

旭川大学経済学部教員 業績一覧  
2013年1月～12月

浅沼大樹

【学会発表】

1. Average Productivity and Aggregate Performance, 進化経済学会全国大会、2013年3月15日、中央大学

【外部資金獲得】

1. 科学研究費補助金・若手研究 (B)・研究課題番号24730235 (2012年4月～2014年3月)・研究代表者：浅沼大樹「ミクロ的生産性とマクロのパフォーマンスの間の非線形関係についての研究」

【社会活動 (ア)】 講師、通訳

1. (講義)「アベノミクスを読み解く」'13旭川大学AEL 経済経営講座、2013年9月18日、旭川商工会議所

江口尚文

【社会活動 (ア)】 講師、通訳

1. (講義)「キャリアワーク」、2013年5月28日、上川高校
2. (講義)「商店街マップ作成」、2013年6月7日、士別翔雲高校
3. (講義)「キャリアワーク」、2013年6月11日、上川高校
4. (講義)「面接試験における効果的な自己PR法ー組織理論からの分析ー」、2013年6月13日、留萌千望高校 (旭川大学にて)
5. (講義)「インターンシップ事前学習」2013年7月2日、上川高校
6. (講義)「みんなが社長さん～ベンチャービジネス～」、2013年7月11日、上川中学
7. (講義)「面接試験における効果的な自己PR法ー組織理論からの分析ー」、2013年7月12日、クラーク記念国際高校
8. (講義)「地域活性化とベンチャービジネス」、2013年9月5日、永山中学校 (旭川大学にて)
9. (講義)「地域活性化とベンチャービジネス」、2013年9月19日、旭川市シニア大学
10. (講義)「旭川平和買い物公園に見る“通り”のイノベーション」'13旭川大学AEL 経済経営講座、2013年9月27日、旭川商工会議所

大野成樹

【論文】

1. Ono, S. (2013) “The effects of foreign exchange and monetary policies in Russia,” *Economic Systems* (Germany), Elsevier, Vol. 37, Issue 4, pp. 522-541. (査読付)  
<http://dx.doi.org/10.1016/j.ecosys.2013.03.003>
2. 大野成樹「ロシアにおける金融政策手段および政策運営」『旭川大学経済学部紀要』、第72号、73-94頁 (査読付)
3. 大野成樹「ロシアにおける金融政策の指標と変遷」『ロシアNIS経済調査月報』、一般社団法人ロシアNIS貿易会、2013年11月号、52-60頁 (査読なし)

【学会発表】

1. The Effects of Foreign Exchange and Monetary Policies in Russia, Fifth East Asian Conference on Slavic-Eurasian Studies, August 9, 2013, Osaka University of Economics and Law.

【外部資金獲得】

1. 科学研究費補助金・基盤研究 (C)・研究課題番号50333589 (2012年4月～2016年3月)・研究代表者：大野成樹「ロシアにおける為替・金融政策に関する研究」(910千円)

【社会活動 (ア)】 講師、通訳

1. (講義)「世界経済の動きを読み解く」旭川市シニア大学、2013年6月7日、旭川市まちなか市民プラザ
2. (講義)「世界経済の動きを読み解く」'13旭川大学AEL 経済経営講座、2013年9月6日、旭川商工会議所

【社会活動 (イ)】 各種委員会・団体活動等；学会役員、行政委員会、NPO等活動団体役員等

1. NPO法人ロシア極東研、監事
2. 北海道大学、客員教授

吉地 望

【社会活動 (ア)】 講師、通訳

1. (講演)「観光都市としての旭川のこれから」'13旭川大学AEL 経済経営講座、2013年9月4日、旭川商工会議所

黒川伸一

【著書】

1. (共著)『よくわかる憲法 [第2版]』ミネルヴァ書房、2013年5月、233頁「第3部I国会」を担当、158-173頁

【論文】

1. 「職権行使の独立と立法機能の限界」『法学新報』第120巻1・2号(中央大学法学会、2013年6月)、123-153頁

【社会活動(イ)】 各種委員会・団体活動等

1. 旭川市情報公開・個人情報保護委員会委員
2. 旭川市公正職務審査会委員
3. 旭川市まちづくり基本条例市民検討会議委員
4. 旭川弁護士会資格審査委員会予備委員

古松丈周

【著書】

1. 共著『リメディアル世界史入門』創成社、2014年1月、225頁「第2章 ブレイン・ゲイン」「コラム⑧ 風と大地と海の声…」を担当、19-31頁、220-222頁

【社会活動(ア)】 講師、通訳

1. (講義)「経済学入門」、高大連携講義、2013年7月4日、鷹栖高校(旭川大学にて)
2. (講義)「歴史のなかの新自由主義」'13旭川大学AEL 経済経営講座、2013年9月20日、旭川商工会議所

近藤 功 庸

【論文】

1. 近藤功庸・山本康貴・愼鏞光「規模の経済性を考慮した生産性の地域別推移と地域間格差の同時分析 - 韓国稲作の事例 -」『農林業問題研究』第49巻第1号、177-182、2013年。(査読付)

【学会報告】

1. Katsunobu Kondo, Jun Sasaki, Yongkwang Shin and Yasutaka Yamamoto "Which Region Has Most Contributed to Productivity Change of Korean Rice Sector?," the 57th Annual Conference of the Australian Agricultural and Resource Economics Society, Poster Presentation, The Sydney Convention and Exhibition Centre in Darling Harbour, Sydney, New South Wales, Australia, February 6, 2013.
2. Katsunobu Kondo, Jun Sasaki, Yongkwang Shin and Yasutaka Yamamoto "Multilateral Productivity Index and Variable Returns to Scale: An Application to Rice Sector in Korea," the 13th European Workshop on Efficiency and Productivity Analysis, Oral Presentation, Aalto University School of Business, Helsinki, Finland, June 19, 2013.

【外部資金獲得】(近藤功庸が代表者であるものに限定)

1. 日本学術振興会・科学研究費補助金・基盤研究C(一般)「食料自給率停滞下における日韓両国の農業生産性に関する計量経済学的研究」(課題番号23580308) 研究代表者:近藤功庸、研究分担者:山本康貴(2011年4月~2013年3月)(120万円)

【社会活動(イ)】各種委員会・団体活動等

1. 社団法人北海道未来総合研究所特任研究員(2012年5月~現在)
2. 地域農林経済学会編集委員(2012年10月~2014年10月予定)

齋藤 眞 宏

【論文】

1. (単著)「わたし」と向かい合う異文化間教育の実践—映像教材『雪渡り』からの教職志望学生の学び— 北海道大学大学院教育学院研究紀要 119号 pp.155-166

【研究発表】

1. (単著)東日本大震災被災地におけるサービスラーニングと異文化間理解 仮設住宅におけるサロン活動を通じた学生たちの学び(2) 第34回異文化間教育学会 2013年6月8日 日本大学 文理学部
2. (単著)Learning through core reflection: A case study of two student teachers, Association of Teacher Education in Europe [ATEE] 2013, 2013年8月24日, Ostfold University College, Halden, Norway
3. (単著) Reflection on reflection in actionの試み(2): 3人の実習生のプロセスレコードの記述から、2013年9月16日、第23回日本教師教育学会、佛光大学

【社会貢献(ア)】講師、通訳

1. 第12回石狩川水質調査発表会審査員 (2013年12月13日) 北海道上川高校
2. 「出会い、語り、見つめ、つながる」: 旭川大学齋藤ゼミ・北海道朝鮮学校高級部ヒューマンライブラリー (HL) (2013年11月16日) 北海道朝鮮学校
3. 「レヌカの学び」(2013年10月29日) 旭川大学高校
4. 「東日本大震災被災地におけるサービスラーニングと異文化間理解 仮設住宅におけるサロン活動を通じた学生たちの学び」(2013年10月19日) 2013年度第3回異文化間教育学会研究委員会
5. 進路座談会「しゃべり場」(2013年10月9日) 北海道上川高校
6. 「大学で学ぶこと: 旭川大学の場合」(2013年10月2日) 北海道留辺蘂高校
7. 「大学での学び 自分を越えるためのブレイクスルー」(2013年7月25日) 北海道留辺蘂高校
8. 「大学での学び 自分を越えるためのブレイクスルー」(2013年7月4日) 北海道鷹栖高校
9. 「これからの社会で必要とされること」(2013年6月5日) 上川町上川中学校
10. 「Reflection on reflection in actionの試み: 2人の実習生の半年間の学びから」(2013年4月21日) 日本教師教育学会課題研究Ⅱ
11. 「総合学習で何を学ぶのか」(2013年4月18日) 上川町上川中学校
12. 進路座談会「しゃべり場」(2013年3月29日) 北海道上川高校
13. 「第2回 東日本大震災被災地ボランティアで学んだこと」(2013年3月9日) 旭川ウエ

ルビーリング・コンソーシアム

14. 『『自分』を越える:大学における学びの紹介』(2013年2月4日) 旭川大学情報専門学校  
【社会活動(イ)】各種委員会・団体活動等
1. 自主夜間中学旭川遠友塾副代表 (2007年12月～現在)
  2. 異文化間教育学会紀要編集委員 (2011年6月～2013年5月まで)
  3. 江卸発電所忠別川遊水池強制連行・動員犠牲者遺骨発掘実行委員会共同代表 (2013年5月～11月)

佐古田 真紀子

【論文】

1. 「ドイツにおける将来の給付の訴えの適法性について(2)」『旭川大学経済学部紀要』第72号、33-72頁(査読付)

【社会活動(ア)】講師、通訳

1. (講演)「もし、裁判員に選ばれたら」美唄市男女共同参画推進協議会10周年記念講演会、2013年11月6日、美唄ホテルスエヒロ

【社会活動(イ)】各種委員会・団体活動等

1. 旭川地方裁判所 地方裁判所委員会 委員
2. 旭川弁護士会 懲戒委員会 予備委員

須川 宏之

【社会活動(ア)】講師、通訳

1. 「常識って何だろう」、2013年6月28日、芦別高校
2. 「常識って何だろう」、2013年10月17日、東川高校(旭川大学にて)

張 興 和

【論文】

1. (共著)「風力発電世界一の中国における風力発電及びエネルギー政策」、『旭川大学経済学部紀要』、第72号、pp. 21-31、2013

【社会活動 (ア)】 講師、通訳

1. (講義)「地球温暖化問題と低炭素社会の構築」、旭川ウェルビーイング・コンソーシアム公開講義「環境科学」、2013. 6. 1 旭川市HI・R0・BA (フィール7階)
2. (講演)「風力発電の現状と展望」(基調講演)、エネルギーメディア変換材料分野研究報告会、2013. 7. 24、北海道大学

【社会活動 (イ)】 各種委員会・団体活動等

1. 北彩都あさひかわ開発促進期成会常任委員 (2013年)

平 山 雄 三

【社会活動 (ア)】 講師、通訳

1. (講義)「ネット社会の事件簿」、2013年2月14日、湧別高校 (旭川大学にて)
2. (講義)「ネット社会の事件簿」、2013年4月12日、紋別高校 (旭川大学にて)
3. (講義)「ネット社会の事件簿」、2013年10月2日、旭川市シニア大学
4. (講義)「汚染食品の摂取と体内放射能」、2013年11月14日、愛宕公民館

深澤 宗明

【社会活動（ア）】 講師、通訳

1. (講演) 「色のいろいろー色と異文化理解」、2013年7月3日、留辺蘂高等学校
2. (講演) AEL講座「色のいろいろー色と異文化理解」、2013年7月25日、旭川市シニア大学
3. (講義) 平成25年度JICA研修講座「EDUCATION IN JAPAN」2013年5月17日、6月7日、7月5日、8月23日、10月4日、10日、11月11日、22日、(独立行政法人) 国際協力機構 北海道国際センター
4. (助言) 北海道高等学校英語教育研究会夏期セミナー(北海道高等学校英語教育研究会)、2013年8月9日、札幌国際情報高等学校

【社会活動（イ）】 各種委員会・団体活動等

1. 旭川市社会教育委員
2. 旭川市国際交流委員
3. 札幌龍谷学園高等学校理事
4. 北海道高等学校英語教育研究会顧問

宮下 郁男

【社会活動（ア）】

1. 「日本企業の海外進出ートヨタ自動車を中心にしてー」(2013年12月11日) 東光公民館、百寿大学

渡辺 泰宏

【社会活動（ア）】 講師、通訳

1. (講義) 『働く』ってなんだろう？ー中高生の皆さんへー 2013年2月14日、湧別高校(旭川大学にて)
2. (講義) 「地域研究1」、2013年4月26日、士別翔雲高校
3. (講義) 「組織とリーダーシップ」2013年7月24日、永山公民館